

使用済みプラスチックの再資源化事業への取り組み 「株式会社アールプラスジャパン」への資本参加について

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰、以下:当社)は、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック資源循環を推進するため、2020年6月から事業を開始した共同出資会社「株式会社アールプラスジャパン」に資本参加することをお知らせします。

共同印刷グループは、マテリアリティ(重要課題)の一つとして「循環型社会～革新的なパッケージとサービスで、サステナブルな未来をつくる」を特定しています。資源を有効活用する環境対応製品などの開発による事業領域の拡大とともに、顧客や自治体などと回収から再資源化までの循環スキームの社会実装にも積極的に関与していくなど、サーキュラーエコノミーの実現に向けて取り組んでいます。

今後も、本共同出資事業への参画により、使用済みプラスチックの資源循環に向けた取り組みをより一層強化し、バリューチェーンの一員として持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

■共同出資事業における取り組みについて

当社が参画する株式会社アールプラスジャパンは、米国のバイオ化学ベンチャー企業であるアネロテック社(Anellotech Inc.)とともに、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めています。「「すてる」をなくす、「みらい」をつくる。」を企業理念に掲げ、世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料・食品メーカー、銀行など業種を超えた連携により、資源循環スキームの構築に取り組んでいます。

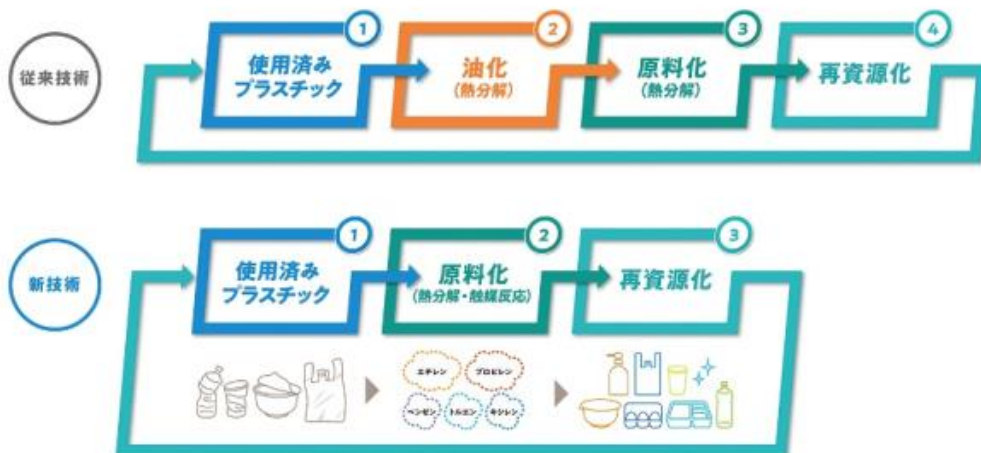
●使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼^{※1}されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料(ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど)に戻すケミカルリサイクル^{※2}の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO₂排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー(熱利用)を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



■共同出資会社の概要

会社名	株式会社アールプラスジャパン
事業開始	2020年6月5日
本社所在地	東京都港区台場2-3-3
代表取締役社長	横井恒彦
事業内容	使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

参考: アネロテック社 (Anellotech Inc.) について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術を保有している。

【参画企業一覧】

